

THE
WOOLMARK
COMPANY



リブ ニット帽

BY KYE





サイズ

頭囲52cm用 (54、56、58)

頭囲をしっかりと確認してください。きつすぎず、緩すぎないように作りましょう。

編み始める前に、作り方を最後までよくお読みください。わからないことがある場合、YouTubeを参照してください。お役立ち動画がたくさんあります。

材料

- 100%メリノウール毛糸、8Ply (DK/合太)。
 - 52、54cmサイズのニット帽:100g**
 - 56、58cmサイズのニット帽:150g**
- 4mm (UK6) の両端が針になった編み棒 (DPN) 1組、または4mm (UK6) の80cmの輪針1本 (マジックループ編み用)。
- 糸始末に使うウール用針
- ステッチマーカー
- 段数カウンターまたは段数カウントアプリ

必要なスキル

- 表編み、裏編み
- 作り目 (編み始め)
- 伏せ目 (編み終わり)
- 増し目、減らし目
- 輪編み

略語

※本文には使用していませんが、英語版を見る際に参考にしてください。

beg=始める、始まり; **cm**=センチメートル; **K**=表編み目; **P**=裏編み目; **rep**=繰り返す; **st/s**=編み目; **stocking st**=メリヤス編み (編み地の表面の段を表編み、裏面の段を裏編み); **tog**=一緒に、一度に; **PM**=ステッチマーカーでしるしをつける; **SM**=ステッチマーカーを右針に移す

LET'S GET STARTED!

ステップ 1

4mmの両端が針になった編み棒、または4mmの輪針を使って、104 (112-120-128) 目を作り目します。作り目の方法は、作品に伸縮性を持たせるロングテール・キャスト・オンまたはジェニーのストレッチ・キャスト・オンがお勧めです。作り目部分の端のキャスト・オンがねじれないように気をつけながら、輪編みに入ります。ステッチマーカ―でしるしをつけます。

1段目―*表2、裏2*を終わりまで繰り返す。ステッチマーカ―を右針に移す。

1段目を、始まりから16 (18-20-22) cmまで繰り返す。段が終わるごとにマーカ―を移すことを忘れないようにしましょう。

帽子のへりを折り返したい場合は、クラウン部分を編み始める前に好みの長さを足してください。

**長さを足すと毛糸も余分に必要になります。



減らし目から始めましょう。

1段目―*表2、裏2、表2、裏編み左上2目一度*を終わりまで繰り返す。91 (98-105-112) 目。ステッチマーカ―を右針に移す。

2段目―*表2、裏2、表2、裏1*を終わりまで繰り返す。ステッチマーカ―を右針に移す。

3段目―2段目と同じ。ステッチマーカ―を右針に移す。

4段目―*表2、裏編み左上2目一度、表2、裏1*を終わりまで繰り返す。78 (84-90-96) 目。ステッチマーカ―を右針に移す。

5段目―*表2、裏1*を終わりまで繰り返す。ステッチマーカ―を右針に移す。

6段目―5段目と同じ。ステッチマーカ―を右針に移す。

7段目―*表2、裏1、表2、表編み左上2目一度、裏1*を終わりまで繰り返す。65 (70-75-80) 目。ステッチマーカ―を右針に移す。

8段目―*表2、裏1、表1、裏1*を終わりまで繰り返す。ステッチマーカ―を右針に移す。

9段目―8段目と同じ。ステッチマーカ―を右針に移す。

10段目―*表編み左上2目一度、裏1、表1、裏1*を終わりまで繰り返す。52 (56-60-64) 目。ステッチマーカ―を右針に移す。

11段目―*表1、裏2*を終わりまで繰り返す。ステッチマーカ―を右針に移す。

12段目―11段目と同じ。ステッチマーカ―を右針に移す。

13段目―表1、*表編み左上2目一度*を残し1目になるまで繰り返す、最後の1目と次の段の最初の1目を一度に表編み。26 (28-30-32) 目。

14段目―*表編み左上2目一度*を終わりまで繰り返す。13 (14-15-16) 目。

15段目―*表編み左上2目一度*を残し1 (0-1-0) 目になるまで繰り返す、表1 (0-1-0)。7 (7-8-8) 目。ステッチマーカ―を右針に移す。

毛糸を切り、残りの編み目に通してからきつく引き、しっかり閉じます。

クラウン部分を作り出す

仕上げ



残りの毛糸を編み地に縫い込んでくぐらせて始末します。帽子のへりを表側に折り返します。

お手入れ方法



毛糸メーカーの洗濯・お手入れ方法の指示に従ってください。必ず平置きで乾かし、帽子が伸びないようにしましょう。そうすれば、長く帽子をご愛用いただけます。<https://www.woolmark.jp/about-wool/wool-care/>にて、ウールの洗濯と乾燥について簡単なヒントをさらにご覧になれます。